



MESSAGE NOTES

神の子として生きる

第一ヨハネの手紙 3 章

ブラウン・ジェームズ

1. 罪がない？

I ヨハネの手紙 3:9 神から生まれた者はだれも、罪を犯しません。神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。

神の子として、私たちは新しいアイデンティティを与えられています。もはや罪人ではなく、聖徒なのです。自分を罪人として見ているときは、そのように人生を生きることになります。しかし、自分が聖徒であることを知れば、ますますそのように生きることになります。イエスの血潮は私たちを罪の呪いから解放します。

2. 互いに愛し合うこと

I ヨハネの手紙 3:11 互いに愛し合うべきであるということは、あなたがたが初めから聞いている教えです。

神の子として生きる次の特徴は、互いに愛し合うことです。キリストにある兄弟姉妹として、私たちは互いへの特別な愛を持つべきです。私たちは皆、ひとつの家族なのです。言葉だけではなく、行いと真実をもって愛します。イエスは私たちのためにご自分の命を捧げられたのですから、私たちは互いに、そして周りの人々に対しても同じ愛を持つべきです。

3. 自分を責めない心

I ヨハネの手紙 3:19 それによって、私たちは、自分が真理に属するものであることを知り、そして、神の御前に心を安らかにされるのです。

お互いへの愛は、私たちが神の子であることを保証します。神を愛し、他の人々を愛しているとき、自分の心に責められることはありません。たとえ自分の心が責めたとしても、神様は私たちの心より大きな方であることを知ることができます。神様の子として生きる最後の特徴は、自分を責めない平和な心を持つことです。

2024 年 6 月度 会計報告

収入 1,071,620 円 支出 921,777 円